

Oracle 入門 ～研修受講後テスト 解答～

■問題1【データベース概要】

データベースの利点について誤っているものを2つ選択して下さい。

- データアクセスでは、物理的な位置を意識することができる。
- データを1つにまとめて管理することができる。
- 複数のユーザーで共有利用することはできない。
- データの冗長が解消されれば、データの矛盾発生も防止できる。

<テキスト掲載箇所>1-1、1-5

■問題2【データベース概要】

リレーショナル・データベースとデータベース管理システムの特徴について以下の説明文の空欄に正しい用語を選んで下さい。

Oracleは【 F 】型のデータベースを採用している。また、それを管理するシステムを【 H 】という。

【 F 】・データベースにアクセスする際は必ず【 B 】と呼ばれる言語を使用する。【 B 】は

【 C、D 】や【 D、C 】を指定するだけで簡単にデータにアクセスできる。

A. 階層 B. SQL C. 表 D. 列 E. 行 F. リレーショナル G. ネットワーク H. RDBMS

<テキスト掲載箇所>1-3 ～ 1-6

■問題3【SQL 概要】

SQLとトランザクション制御の特徴として誤っているものを全て選んでください。

- トランザクションの処理は、COMMITまたはROLLBACKによって制御される。
- SQLでは、物理的にデータが格納されている位置を指定して処理する。
- SQLはOracle独自の言語である。
- インスタンス障害が発生すると、トランザクション中の処理は全てROLLBACKされる。

<テキスト掲載箇所>2章

■問題4【Oracleの基本機能】

データベース・ユーザーと権限について、以下の説明文の空欄に正しい用語を記述して下さい。

- ・ データベースを作成すると【 SYS 】、【 SYSTEM 】ユーザーが自動的に作成される。
通常のデータにアクセスする一般ユーザーは必要に応じて管理者によって作成される。
- ・ データベースへの接続や表を作成するためには【 システム 】権限、他のユーザーの所有するデータベース・オブジェクトにアクセスする際には【 オブジェクト 】権限が必要である。

<テキスト掲載箇所> 3-3 ~ 3-8

■問題5【Oracleの基本機能】

同時実行制御について誤っているものを全て選んで下さい。

- ロックしているユーザーが、COMMITを実行するとロックは解放される。
- ロックしている行を、他のユーザーがSELECTする事はできない。
- ロックしている行に対してデータ操作を行うとエラーが返る。
- 大量の行がロックの対象となった場合でも、ロックが表全体に広がることはない。

<テキスト掲載箇所> 3-9 ~ 3-10

■問題6【Oracleの基本機能】

整合性制約とその説明として正しい組み合わせを2つ選んでください。

- NOT NULL制約：データの欠落を許可しない
- 一意キー制約：重複データとNULLを許可しない
- 主キー制約：結合対象となる表の関係を保つ
- チェック制約：ユーザーが条件を設定できる

<テキスト掲載箇所>3-13 ~ 3-16

■問題7【Oracleアーキテクチャ】

物理データベース構造について、以下の説明に合ったそれぞれのファイル名を空欄に記述して下さい。

- ・表の中のデータを格納するためのファイル 【 データ・ファイル 】
- ・データベースで行われたデータ変更の履歴が記録されているファイル 【 オンライン REDO ログ・ファイル 】
- ・データベースの内部的な情報が記録されているファイル 【 制御ファイル 】

<テキスト掲載箇所>4-3

■問題8【Oracleアーキテクチャ】

Oracle インスタンスについて正しいものを2つ選択して下さい。

- REDOログ・バッファには変更履歴以外にSQLの解析結果も記録している。
- 共有ブールは、一度読み込んだデータをユーザーで共有するメモリ領域である。
- DML、DDL処理を実行すると、REDOログ・バッファに変更履歴が記録される。
- データベース・バッファ・キャッシュは、一度読み込んだデータを保存し、次回同じデータが必要になった際、高速に処理が行えるようにしている。

<テキスト掲載箇所> 4-7 ~ 4-12

■問題9【バックアップ・リカバリ実習】

障害に備えた仕組みとして正しい説明を全て選択して下さい。

- オンラインREDOログ・ファイルは2つ以上のファイルを循環して使用するという特徴がある。
- バックアップ・ファイルさえ残しておけば最新の状態までデータを復旧できる。
- ファイル障害が発生すると、壊れたファイルを正常なファイルに置き換える(リストア)必要がある。
- ログスイッチが発生する度に取られるオンラインREDOログ・ファイルのコピーをアーカイブREDOログ・ファイルという。

<テキスト掲載箇所> 5-1

■問題 10 【Oracle の標準ツール】

以下の目的に最適な Oracle の標準ツール名を選択して下さい。

- ・ 障害に備えてバックアップの取得や管理を行えるツール。 【 D 】
- ・ GSV形式などの外部ファイルのデータをデータベースの表へロードできるツール。 【 C 】
- ・ 表やユーザー単位でバックアップを行えるツール。 【 F 】
- ・ GUIでデータベースの管理作業が行えるツール。 【 G 】

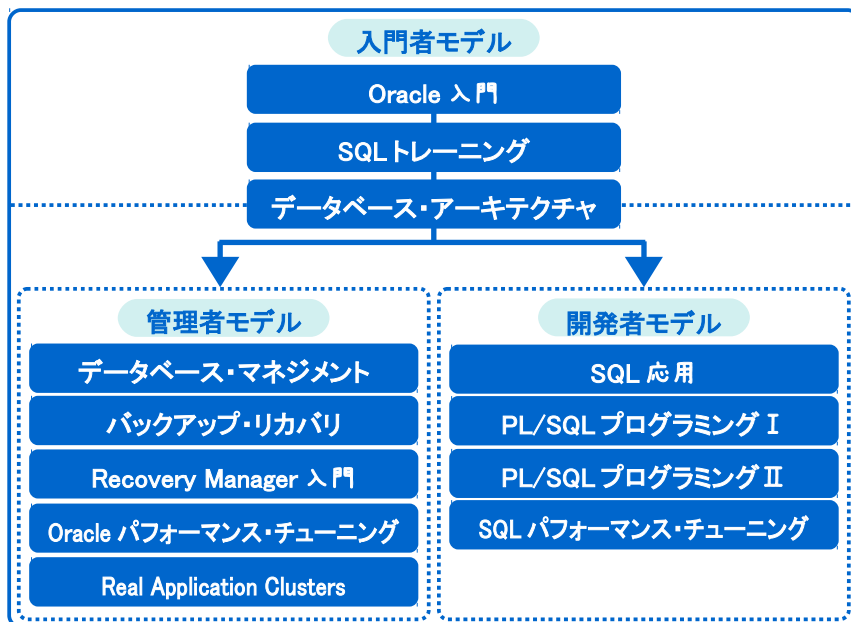
- A. SQL*Plus B. Database Configuration Assistant C. SQL*Loader
 D. Recovery Manager F. Data Pump Export/Import G. Oracle Enterprise Manager

<テキスト掲載箇所> 6章

Information

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】edusup_ora@ashisuto.co.jp